

平成23年 4月 11日

新宿区長 へ

法人名 みんなのうちに
所在地 新宿区早稲田南町31
(フリガナ) みしま ともひこ
代表者氏名 代表理事 三島 知彦

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	大久保地域での多文化共生を目指した児童館活動の可能性
実施日時又は期間	平成22年6月～平成23年3月
対象者の範囲及び人数	大久保児童館を利用する子ども及びその保護者、更には外国人も含む大久保界隈の地域住民
事業内容	大久保児童館を利用する多文化背景を持った子ども達を中心にアートの複数ワークショップを実施し、大久保地域における多文化共生を目指す
具体的な活動状況	<p>① フォトモワークショップ：実施時期6月～9月 6月からのワークショップのために4月から準備に入り、フォトモ講師糸崎さんからワークショップを手伝うために、スタッフが事前にフォトモ養成講習会を受けた。 地域の大人と子どもが参加して大久保の街をデジカメで写した写真を切り抜き組み立て3D写真模型を製作する 5回のワークショップ参加者合計約83名</p> <p>② 児童館アート：実施時期8月 大久保児童館体育室でアーティストと一緒に非日常的な幻想的な空間を体験する 参加者数約40名</p> <p>③ 映像制作ワークショップ：実施時期10月 中高生が5グループに分かれ、それぞれのテーマの下にビデオ制作、上映 参加者数約45名</p> <p>④ フォトブック作りワークショップ：実施時期12月 小中高生が大久保地域の好きな場所を被写体として写す。 23年2月14日～4月14日まで大久保図書館で展示 参加者数25名</p>

	<p>⑤ ドキュメンタリー制作：実施時期全期間を通して ①～④のワークショップや児童館の日常行事、地域の取り組み等をドキュメンタリー映像として残し、児童館活動の可能性と閉館される児童館を記録に残す事を目的とした。 大久保図書館指定管理者(紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体)の協力を得て3月26日大久保地域センター多目的ホールで上映会を実施予定だったが、震災の影響で中止</p>
事業の成果	<p>① アートには「創りだす」と言う創造活動を通じて新しい視点を発見できる。子どもは、DVD制作、児童館アートは共同制作から人と繋がる体験をして「繋がる力」が発見できた。また、フォトモやフォトブックは個としての視点を持つ事で「自分を見つめる力」を体験した。これらアートプロジェクトで様々な創作ワークショップを介して子どもが主体的に動くことのできる機会を提供できた。</p> <p>② 作品を展示する、DVDを上映する事で紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体とも連携が出来た。</p> <p>③ アートプロジェクトで多文化背景を持った子ども達と関わったアーティスト自身が子ども達の文化を知る事で、アーティスト自身が新たな側面を感じ取ってくれた。ワークショップが終了後にも積極的に関わってくれ、今後も協力したいとの申し出があった</p> <p>④ 国際協力基金がプロジェクトに支援をしてくれる事になった。</p> <p>⑤ 大東文化大学川村千鶴子先生が主催する「多文化共生研究」で「大久保アートプロジェクト」の成果発表をした。</p> <p>⑥ 大久保アートプロジェクトが2011年1月8日日経新聞夕刊コラム「うたたね」で紹介された</p> <p>⑦ 他の地域の同じような子どもたちと映像制作というテーマを介して繋がりができた</p> <p>⑧ 外務省国際ワークショップの大久保フィールドトリップの参加者が大久保図書館で展示中の写真を鑑賞してくれ、事業の目的を評価してくれた</p> <p>⑨ 明治大学教授山脇啓造先生から出来上がった映像を授業に使いたいとの申し出があった</p>

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

	経 費	積算根拠（内訳）	金 額
収 入	団体負担金		61,585 円
	参加費・資料代等	500 円×83 名=41,500 円	41,500 円
	その他の収入	紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体より協力費 19 万円 国際交流基金より助成金 22 万円 個人寄付金 15 万円	560,000 円

	協働推進基金助成金	助成金交付額	500,000 円
	計		1,163,085 円
支出 (助成の対象になる事業費の内訳)	費 目	決算額	内 訳
	会議費	15,800 円	大久保地域センター利用
	宣伝費	77,933 円	ウェブサイト制作費：¥9,000×4回=36,000 円、チラシ作成：¥9,000×4回=36,000 円 広告映像作品紹介DVDダビング：5,933 円
	リース費	191,887 円	カメラ：23,887 円(10 台) ビデオカメラ他：¥8,000×21 日=168,000 円
	消耗品費	83,082 円	インク：32,730 円、文具：14,412 円、紙：27,460 円 コピー代：8,480 円、
	謝礼	520,000 円	フォトモ・糸崎：¥20,000×7 日=140,000 円、コーディネーター・小山：¥9,000×5 回=45,000 円、記録・李¥20,000×1 日=20,000 円、ダンス・牛島：¥5,000×1 日=5,000 円 映像・佐藤他：¥5,000×56 人=280,000 円、写真・桑原：¥20,000 円×1 日=20,000 円、記録・原田：¥10,000×1 日=10,000 円
	人件費	128,000 円	事務担当・小林¥4,000×15 日=60,000 円 ワークショップ手伝い・三浦¥4,000×11 日=44,000 円 ワークショップ準備・海老原¥4,000×5 日=20,000 円 写真展示・海老原¥2,000×2 日=4,000 円
	材料費	60,354 円	フォトモ(インク・紙等)：13,145 円、 映像(DVD)：9,260 円、 写真(インク・紙、ボード等)：37,949 円
	交通費	19,320 円	電車：19,320 円 (講師・スタッフ交通費)
	その他諸経費	11,830 円	保険：720 円、郵便：1130 円、宅急便：1270 円 立て替え払い(宅配便)=8,710 円
助成対象事業費 (小計)		1,108,206 円	
余 剰 金		円	
助成対象外事業費		54,879 円	講師食事：30,743 円、飲み物：2818 円、 おにぎり：14541 円、お菓子：6,777 円
事 業 総 額			1,163,085 円

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 予定した事業は計画通り実施する事ができた。 ② 地域の大人の参加が予定した人数が参加してもらえなかった。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の子どもが改めて絆が強められた ② 大久保児童館の存在意義を理解してもらえた結果閉館を残念がる声が出た ③ 大久保を街として新たな視点を発見できた ④ 大人が子どもの視点に触発され、街を見直す事を考えてくれる人が現れた ⑤ 今回のプロジェクトを継続する事が重要であると実感した
費用対効果は適正であったか。	<p>お願いしたアーティスト全員が謝金が支払われない日(作品手直し、写真展示日、映像上映等)も手伝いに来てくれた。事業を理解した大久保図書館が場所等を提供してくれた。これらの事を考えると費用対効果は予定以上であったと思う。</p>
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業の広報をどうするか ② 多文化共生に向けての地域の意識喚起 <ul style="list-style-type: none"> ①、②の問題を解決する為には継続的に情報発信と地域との連携、理解者を増やしていく事が問題解決につながる
理解者や支援者が広がったか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 共催を予定していなかった紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体、国際交流基金が事業途中で支援を申し出てくれた ② 何れのアーティストも更に関わりたいとの申し入れがあった ③ 映像に関して他の団体と連携が取れた
事務局の執行体制は十分だったか。	<p>役割分担をしていたので効率的に事業を実施できた。</p>
今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。	<ul style="list-style-type: none"> ① プロジェクト参加者・理解者を増やす努力をした。 ② 今後制作したドキュメンタリーの巡回上映や貸出をする事で収入を得る事になっている。 ③ 事業に寄付を申し出ている理解者がいる。 ④ 国際交流基金が大久保アートプロジェクトに支援をしたいとの事

その他	<p>国際交流基金が外国人アーティストを招聘した時には連携を取る方向で調整したいとの提案があった。</p> <p>明治大学教授山脇啓造先生からドキュメンタリー映像を授業で紹介したいと申し出があった。</p>
-----	---

4 活動の成果

- * 事業の成果物（冊子など）又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
- * 参加者の意見なども報告してください。

参加者感想：

- ① 大人のフォトモ参加者：はじめて知った技法でとても面白い、自分の家を試してみたのが良かった。
 - ② 大人のフォトモ参加者：興味深い方法でもっと多くの人に広めたい。作品展示も積極的にしてほしい。
 - ③ 子どものフォトモ参加者：時間が長くて飽きる時もあったが、おもしろかった。大人より子どもの方が上手と思った。
 - ④ DVD制作参加高校生は自分が写されると思ったが、ビデオカメラで好きな所を映す、DVDを編集する事が興味深く、もっと経験したいと思う。
 - ⑤ 学校が違うので普段会えない友達と会えて、DVD制作ができて良かった
 - ⑥ DVDを制作する過程で自分の好き場所を友達に紹介できた
 - ⑦ DVDワークショップはグループでの制作だったが、写真は自分一人と向き合う事で違う経験ができた
- 以下写真の添付